



インターネットでの情報提供	
提供予定日	11月26日

平成22年11月25日 都道府県記者クラブ・県政記者クラブ・岐阜経済記者クラブ 同時配布資料			
担当課	担当	担当者	電話番号
(財)岐阜県産業経済振興センター	デザインセンター	村井 康孝	058-277-1081
商工労働部モノづくり振興課	モノづくり担当	川西 和彦	直通058-272-8362 内線3097

産業観光ツアー『モノづくりと出会う旅』を実施します！！ ～ 岐阜県とMIJP(株)との連携事業 ～

岐阜県とメイド・イン・ジャパン・プロジェクト(株)(以下「MIJP」という。)との包括的な連携協力協定(平成22年2月24日締結)に基づく連携事業として、MIJPが実施するニッポンブランドマイスター講座()と連動し、首都圏の高感度な消費者、専門家、メディアを県内のモノづくりの現場へご案内する産業観光ツアー『モノづくりと出会う旅』を実施します。

第3弾となる今回のツアーでは、美濃和紙産地を巡り、美濃和紙の歴史や文化、暮らしとの関わりなど学んでいただくだけでなく、手漉き和紙と機械漉き和紙の製造現場の見学を通じて、作り手の技と心に触れていただきます。

ツアーを通して、岐阜県が誇る美濃和紙への理解を深めていただき、美濃和紙ファンの拡大や参加者による首都圏での情報発信を期待しています。また、参加者の声を地域のモノづくりに活かしていきます。

ニッポンブランドマイスター(NBM)講座

MIJPが主催。首都圏のモノづくりに関心の高い高感度な消費者、専門家、メディアを対象とした、日本の優れた「モノづくり」を学ぶ講座。

記

1. 実施期間 : 平成22年11月27日(土)～28日(日) 1泊2日
2. 訪問予定地 : 美濃市
3. 参加者数 : 20名
4. ツアー行程 : 下記のとおり

< 11月27日(土) >	< 11月28日(日) >
～10:00 JR岐阜駅集合	
11:00～ 産地周遊・昼食	9:00～ 美濃和紙の里会館(美濃市) ・講義
13:00～ 幸草紙工房(手漉き/美濃市)	・紙漉き体験
15:00～ 丸重製紙企業組合(機械漉き/美濃市)	11:30～ 美濃和紙あかりアート館(美濃市)
18:00～ あかりの町並散策	12:30～ うだつの上がる街並散策(美濃市)
19:00～ 夕食・交流会(ますの家・美濃市) 宿泊(ホテルルートイン関・関市)	

5. ツアー内容

【1日目 11/27(土)】

産地周遊・昼食

美濃和紙を育んできた美濃の町を、丸重製紙企業組合のガイドにより周遊したのち、手打ち蕎麦と囲炉裏料理が自慢の「花いかだ」で昼食をいただきます。

さいくさがみ
幸草紙工房(美濃市保木脇385-5 TEL:0575-35-2346)

美濃和紙の伝統の継承を目指す「美濃和紙ネットワーク21」のメンバーでもあり、手漉き和紙の可能性を追求する幸草紙工房を見学し、普段目にする事のない様々な行程を拝見しながら手漉き和紙にかける技と想いをお聞きます。

まるじゅう
丸重製紙企業組合(美濃市御手洗464 TEL:0575-37-2329)

一般公開していない機械漉き工場を特別に見学させていただきます。手漉きが機械漉きに置き換わる行程を見る事で、工業技術の発展とともに進化を遂げたモノづくりの現場を体感します。また、現代のライフスタイルに合わせ、伝統的な技術をベースに新しい技術を積極的に取り入れた和紙作りをご提案いただきます。

「あかりの町並み～美濃～」散策

うだつの上がる町並みで10/15から11/30まで行われている、「あかりの町並み～美濃～」を散策。全国から出品された和紙を使った「あかりアート」の、和紙を通して放たれる光の魅力と情緒ある夜のたたずまいを感じていただきます。

交流会・夕食

地の食材を使った料理が自慢の「ますの家」おいにて、美濃の冬の味覚「猪鍋」を囲みながら、美濃和紙の次世代を担う作り手から美濃和紙への想いや取り組みを伺い、美濃和紙の未来を考えます。また、開発商品に対する意見交換を行います。

【2日目 11/28(日)】

美濃和紙の里会館(美濃市蕨生1851-3 TEL:0575-34-8111)

美濃和紙の里会館にて、丸重製紙企業組合から、美濃の町と美濃和紙の歴史をうかがいます。また、会館で美濃和紙と全国各地の和紙との対比などの展示を見学した後、和紙の手漉き体験を行います。

美濃和紙あかりアート館(美濃市本住町1901-3 TEL:0575-33-3772)

美濃和紙とあかりをテーマにした美術館を見学し、美濃和紙を使ったあかりの可能性をご覧ください。

うだつの上がる街並み散策

都市景観大賞「美しい町並み大賞」など、数々の賞も受賞している「うだつの上がる街並み」を、2日で体感した美濃和紙を思い思いに感じながら、散策します。

6. 今後の予定 : 今年度は、各回20名程度で、残り1回の開催を予定。
第4回 3月中旬(関刃物・郡上伝統工芸)

【参考】

メイド・イン・ジャパン・プロジェクト(株)

日本のモノづくり文化を継承・発展させるために、地域の物産品や加工食品などの日本製商品を流通させ、作り手が潤う仕組みの再構築をビジョンに据える流通事業者。

店舗販売、インターネット販売、卸販売、展示会運営、営業代行、モノづくりコンサルタントなど、幅広い事業を通して日本製商品の「流通改革」を推進。

(住所) 東京都港区赤坂9-6-30-112

(旗艦店) 東京ミッドタウン内「THE COVER NIPPON」(H19.4月開業)

(代表) 赤瀬浩成